

第 70 回総会研究集会

テーマ：オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について(審議のまとめ)

—我々はどのように受け止め、どう行動すべきか—

1. 趣旨

文部科学省 科学技術・学術審議会情報委員会 オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方検討部会は、令和 5 年 1 月 25 日付で「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方について(審議のまとめ)」を公表した。

「審議のまとめ」では、新しい「デジタル・ライブラリー」について、大学図書館のあるべき姿として①教育・研究支援機能や新たなサービス、②機能・サービス実現のための情報科学技術及び「場」としての大学図書館の活用、③機能・サービス実現に求められる人材、④大学図書館間の連携、の 4 つの側面から検討し、2030 年度を目途に実現することを目指している。

本研究集会では、「審議のまとめ」を概観し、大学図書館での課題および先行事例を共有することで、各機関が各々のあるべき姿を検討し実現する端緒としたい。

2. 運営担当者

- 司会 : 東城幸治 (信州大学附属図書館長, 生物学)
司会補助 : 成澤めぐみ (信州大学附属図書館管理課長)
記録 : 赤澤久弥 (京都大学附属図書館利用支援課長)
星子奈美 (九州大学附属図書館学術サポート課学習・研究支援係長)

3. 内容

- (1) 趣旨説明 (5 分)
熊淵智行 (筑波大学学術情報部長)
- (2) 話題提供:「審議のまとめ」の概要について (50 分)
竹内比呂也 (千葉大学附属図書館長, 図書館情報学)
坂井修一 (東京大学附属図書館長, 電子情報学)
- (3) 話題提供: 会員館の取り組み (35 分)
大原一興 (横浜国立大学附属図書館長, 建築計画学)
新田洋司 (福島大学附属図書館長, 作物学、栽培学、熱帯農学)
- 休憩 (15 分)

(4) 全体ディスカッション (50分)

ファシリテーター

永盛克也 (京都大学図書館機構長・附属図書館長. ヨーロッパ文学)

パネリスト

竹内比呂也 (千葉大学附属図書館長. 図書館情報学)

坂井修一 (東京大学附属図書館長. 電子情報学)

大原一興 (横浜国立大学附属図書館長. 建築計画学)

新田洋司 (福島大学附属図書館長. 作物学、栽培学、熱帯農学)

(5) まとめ (5分)